

就労継続支援A型事業を実施する事業主の皆さまへ

特定求職者雇用開発助成金における離職割合要件について

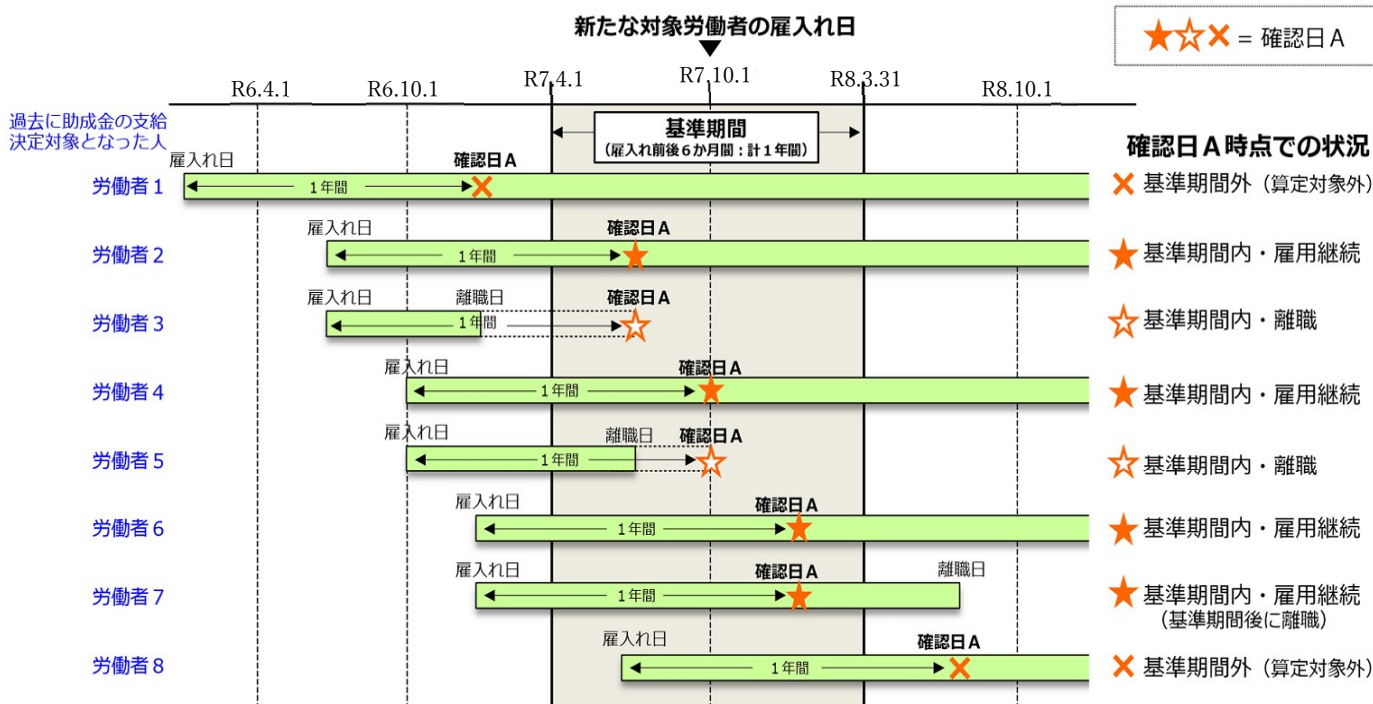
特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース及び生活保護受給者等雇用開発コース）では、過去にこの助成金を受給した就労継続支援A型事業所で、助成金の対象となった労働者の離職割合が高い場合（以下の要件①または②のいずれかに該当する場合）、新たな対象労働者の雇い入れについて、この助成金を受けることはできません。

- ① 対象労働者の雇い入れ日より前にこの助成金の支給決定の対象となった者のうち、雇い入れ日から起算して1年を経過する日（以下、「確認日A」）が基準期間内（対象労働者の雇い入れ日の前後6ヶ月間）にある者が5人以上いる場合であって、それらの者が、確認日Aの時点で離職している割合が25%を超えている場合。
- ② 対象労働者の雇い入れ日より前にこの助成金の支給決定対象者となった者のうち、助成対象期間の末日の翌日から起算して1年を経過する日（以下、「確認日B」）が基準期間内（対象労働者の雇い入れ日の前後6ヶ月間）にある者が5人以上いる場合であって、それらの者が、確認日Bの時点で離職している割合が25%を超えている場合。

<上記の要件①について>

※離職割合(%)=(確認日Aが基準期間内にある人のうち確認日Aで離職している人)÷(確認日Aが基準期間内にある人)

◆算出方法具体例（対象労働者を令和7年10月1日に雇い入れた場合）



<離職割合の算出方法>

- ① 確認日Aが基準期間内（R7.4.1からR8.3.31）にある人（分母）：6名（労働者2～労働者7）
- ② 確認日Aが基準期間内にある人のうち確認日A時点で離職している人（分子）：2名（労働者3、労働者5）

※労働者1と労働者8は確認日Aが基準期間内にないため算定対象外

⇒ 離職割合(%) : ② 2名 ÷ ① 6名 = 33.3%

